

校歌

蒲池小学校校歌

作詞 武末 幸子

作曲 田中 純孝

1. 昇る朝日に 照り映えて

新緑（しんりよく） 香る 筑後路に

高くそびえる 学舎（まなびや）は

常に輝（かがや）き 我ら呼ぶ

2. 清き流れの 水浴（みずあ）びて

心のあかを 流し去り

いつも明るく 伸び伸びと

共に学ぼう 我が友よ

3. 巖（いわお）もくたく 五月雨（さみだれ）の

強き心に 思いよせ

心も強く 身も強く

今日も仲良く 我ら行く

4. 苦難（くなん）の道を のり越えて

みんなで築く 礎（いしづえ）は

代々（よよ）に光りて 曇りなし

我らの母校 蒲池校

武末 幸子 先生にインタビュー

Q: 作詞を引き受けられたきっかけは？

A: 昭和 30 年ころに、校内で作詞作曲の募集がありました。その時に応募したものです。

Q: どんな印象で作詞されたのですか？

A: 当時は、学校のまわりは大きな建物もなく、静かな環境でした。筑後平野は青くどこまでも続いていました。

そののんびりとした空気の中で、蒲池小学校の建物が一段と高くまぶしく映ったものです。その印象がこの詩の基
になっています。

田中 純孝 先生にインタビュー

Q: 先生が校歌をつくられたのは？

A: 校内で校歌を作ろう、ということになり、どちらかというと軽い気持ちで取り組みました。教員生活 2 年目
の時でした。

Q: どんなイメージで作曲されたのですか？

A: 学校の子どもたちが、応援する様子や行進する曲というイメージでした。